

事業名	生涯学習活動の推進	評価実施者	所 属 社会教育課 職・氏名 課長 竹谷和徳
-----	-----------	-------	---------------------------

主要事業の概要	開始年度	—		根拠法令等		社会教育法、公民館法				
	実施方法	■ 直接		□ 委託		特定財源	■ 一般財源 □ 補助金等 ■ 負担金			
	目 的	生涯を通じて、健やかに充実した生活を送るために、いつでも、どこでも自由に学習機会を選択し、豊かに学び、文化に親しみ、スポーツを楽しむことができるような基盤整備をするとともに、学んだ成果を生かして社会の中で自己実現を図ることができる生涯学習社会の構築を目的とする。								
	事業内容	1. 福寿大学の運営 2. 公民館事業の実施(公民館まつり・カラオケ発表会) 3. グループ・サークル活動の支援(グループ・サークル一覧の作成、活動に関する相談・支援)								
事業費	区 分		19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	特 記 事 項		
	事業費(千円)		98	937	638	773	633	福寿大学＋社会教育振興(生涯学習振興会補助金を除く)＋福寿大学負担金		
	うち一般財源		9	93	460	593	441			
目標と実績	区 分			単位	H19	H20	H21	H22	H23	実績の評価 福寿大学は参加者の満足度は高く、積極的に学ぼうとする姿勢が見られる。また、自主的なサークル活動も盛んに行われている。 福寿大学の運営はこれまで事務局がかかりきりであることから、参加者の経験を生かすためにも自主的な大学運営への手法が必要。また、新たな参加を促すためのカリキュラム編成が必至。
	1	福寿大学生平均出席率	目標					60.0	61.0	
			実績	%	57.3	55.3	57.5	60.7		
	2	公民館まつり・カラオケ発表会の参加者数	目標					1,000	1,100	
			実績	人	1,051	863	1,021	929		
	3	総合福祉センター・中央公民館の利用者数	目標					61,000	62,000	
			実績	人	56,143	55,598	60,126	61,177		
	4		目標							
			実績							

評価項目		点数	判 定 及 び 説 明 ・ 考 察									
1	必 要 性	8	市民ニーズや社会情勢に適合しているか					☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1
			実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)					☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1
			・急激な社会構造の変化に伴う価値観や行動様式の変化により、住民の学習ニーズが多様化・高度化するなか、福寿大学や公民館を活用してのサークル活動のほか、リブラーンや國學院大學北海道短期大学部等が実施する学習機会の提供は市民のニーズに応えていると評価する。 ・生涯学習活動の多くは、市民の自主的な学習活動を行政が支援するものであり、積極的な市民の関わりが見られることから実施主体は適切と評価する。									
2	有効性	7	目的に照らして効果的な手法であるか					☐ 5	☐ 4	☒ 3	☐ 2	☐ 1
			成果が十分に上がっているか					☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1
			・福寿大学の手法については一定の参加はあるものの、学習内容が新たな高齢者世代の要望に十分応えられていない。これからの高齢者世代には自己の豊かな経験や能力を生かした積極的な社会参加が期待されることから、福寿大学のプログラムの再考が必要である。 ・公民館まつり、カラオケ発表会等の成果については実行委員会を立ち上げ、より市民が運営に関わるような仕組みにした。発表の場というだけでなく、事業の自主的な運営などによる社会参加が、これからの社会教育の目指すところでもあることから、成果が上がっていると評価する。									
3	効 率 性	4	費用と成果のバランスは適正か					☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1
			・市予算のほか、福寿大学祭では、学生の会費や大学祭のバザー収入を、公民館まつり・カラオケ発表会についても実行委員会形式による自主的な財源確保に取り組んでおり経費節減に努めている。									
総合評価	合計	19	ランク (A～E)	事業の今後の方向性	福寿大学の対象者が増えているにも関わらず、新たな加入がない。学習活動が困難だった世代から、高等教育を受けてきた世代が福寿大学の対象者となってきた。自主的な大学運営を目指すためにも大幅なカリキュラムの見直しが必要。 グループ・サークル活動などの基本情報をインターネット等を活用して積極的に発信し、「学びのある生活」の支援強化を図る。 ☐ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☒ 質的向上 ☐ スピードアップ ☒ 検証 ☐ 現状維持							
	100点換算	76										
		/100										

【評価点数】
5：十分にできている 4：できている 3：ほぼできている 2：あまりできていない 1：できていない

【総合評価ランク】
A：86点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
B：71～85点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C：56～70点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
D：41～55点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
E：40点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

◎外部評価委員の評価・意見等

評価項目		点数	判 定					点検・評価に関するコメント	
1	必要性	8	①	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	・福寿大学生の増員を進めて ・一生懸命前向きに取り組んでいる事が分かる ・学生の意欲がわく取り組みを
			②	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	
2	有効性	7	③	☐ 5	☐ 4	☒ 3	☐ 2	☐ 1	
			④	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	
3	効率性	4	⑤	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	
			合計	19 /25	100点 換算	76 /100	ランク	B	